

STREVO 2

OSAKA Street Artists CATALOG

Lyrics No.1

※無断転用、無断使用は堅くお断りします。

1. 『ポップ☆スター』 唄種

作詞：くず・NOBUAKI 作曲：おーの・くず 編曲：今川 瞬

物語のはじまりは 痛快なリズムにのせて
ついさっきまでのユウウツも 笑い飛ばしちゃうくらいに

例えば雨上がり 虹 ステキだけど 雨雲突き抜ければ晴れ

歓びも自由自在 悲しみも七変化
溢れ出すジョウネツも こぼれてくナミダも

ウタッテ ハジケテ モット！
オドッテ ユレテ テヲツナイテ
ヒビケ ストーリー 終わらないわ

ひとりぼっちよりふたり みんなでワイワイしあわせ
誤解もたまにしちゃうけれど むずかしいコトじゃないのかも

なにげに やさしさでつつまれている キュンとしちゃうこともあるわ

歓びも自由自在 悲しみも七変化
溢れ出すアイジョウと こぼれくるヌクモリ

ウタッテ ハジケテ モット！
オドッテ ワニナッテ テヲツナイテ
ヒビケ ストーリー 終わらないわ

いつだって ウタイマシヨ どこだって イケルデシヨ？
心から コエダシテ いつまでも シュジンコウ

ウタッテ ハジケテ モット！
オドッテ ミライニ ワクワクシテ
ヒビケ ストーリー 終わらないわ

2. 『Broken』 トランク

作詞：新井寿光・NOBUAKI 作曲：新井寿光 編曲：今川 瞬

心の真横に 君はまだいる
曇気楼のように 現れては消えゆく

音もなく壊れた 恋のジェンガ
ひとり拾い集めて

流した涙で いくつも想い出の色が 濡れて蘇る

こわれては積む ひたむきな夜
いつの日か 君に届くのだから
独り 思い 信じて

吐き出せば 日常を 笑えるのか
振り切った筈の 君の笑顔が揺れている

残酷に告げられた 恋はリアル
僕の中で回る

何度も 何度も 墮ちそうだった僕を止めた セリフ抱きしめ

こわれては積む 眠らない夜
届けとばかりに 力込めた
指に誓った日々よ

思いを形にしてきたのに
いつしか君を頼りにしてた
何より大事な君の胸の

僕を 僕が消してた

すべてが繰り返すことならば
もう一度 僕をつかみなおせる
遙か あの日のように
何より君の為に

3. 『スニーカー』 坂本 恵介

作詞：坂本 恵介 作曲：坂本 恵介 編曲：佐藤 泰吾

いつの間にか汚れたスニーカー 君と歩いた道がある
履き潰したその踵さえ 懐かしい景色が浮かんでくる

抱えきれない荷物ならおろそう 少しくたびれたらさう
分かり合えず傷つけ合い ほどけた靴紐ならもう一度結びなおそう

いつまでもそばにいて君の事を守り抜きたい それが僕に出来る事さ
そう思えた事が君の負担にはならないでしょうか？ 願うばかりです

もしも君が泣いた夜なら僕は君の為 星になるう
まだそれでも悲しいのなら5つ6つ増やして星座になるう

それを結んで遊ぶ事がささやかでも希望になればいい
もし良ければ君の好きなように名前をつけておくれ

二人手を取り合ってゆっくりゆっくり歩こうよ 今君が手を握り返した
それはこの世にとって小さな出来事に過ぎないけど 歩いてこうな

いつまでもそばにいて君の事を守り抜きたい それが僕に出来る事さ
そう思えた事が君の負担にはならないでしょうか？

二人手を取り合ってゆっくりゆっくり歩こうよ 今君が手を握り返した
それはこの世にとって小さな出来事に過ぎないけど 歩いてこうな

4. 『真夜中のマシンガン』 ザ☆シガーマン

作詞：ザ☆シガーマン 作曲：Mつつん 編曲：佐藤 泰吾

真夜中に戦車に乗って 真夜中に原チャに乗って
真夜中に女に乗って そんなこんなで地球回って

久々に実家に帰って 久々に同級生に会って
何か悟ったツラをして オレに就職なんか迫って

惚れた女が去って 空白に一年経って
性懲りも無く酒に溺れて 別れのモヤモヤ心にあって

退屈な映画に泣いて 可愛らしいそぶり覚えて
男のツボ抑えまくって 魔性の女に近づいて

黒光りのパンツに当てて 根こそぎ金をとられて
親や友達に泣きついて 何もかも無くしちまって

戦争のニュースを聞いて 日本で良かったと思って
自分の小ささを思っで 「何も出来ん」と話を変えて

真夜中に戦車に乗って 真夜中に原チャに乗って
真夜中に女に乗って そんなこんなで地球回って

5. 『か行』 稲沢 悠

作詞：稲沢 悠 作曲：稲沢 悠 編曲：今川 瞬

顔をあわせると言えないから 今日手紙を書いてみたの
苦しませたりしたくないけど 決着つけたくて 告白します

髪を切った日にはかならず 気付いてくれてたアナタ
靴の音だけでときめいてた 消せない出会い 高一の春

叶わない 奇跡を 繰り返して祈って
険しい道のりでも 越えていけますようって

軽く触れるたびに アナタの 綺麗な瞳を見れず 隠してきた想い
唇が震えて さりげなく 結局 確かめられなかったあの日
小声で言ったの聞こえてた？

風邪をこじらせてしまったから 来てほしいなんて言ったら
薬を持ってかけつけてくれた 仮病だなんて言えず 後悔ばかり残ったわ

ありきたりで カッコ悪くたって 探してる たまらなく 懐かしい人
はがゆさや 迷いで 破いてきた ラブレター 渡せずに

会話が なくなるその時に 期待しちゃうてるの 初めてのキス
暮らしの中 まだアナタを 消せない 優しさ、孤独と
変わらない らしさを 気付けなかった 私がこの距離を
くるわせたりしたくないけれど けれど忘れないうで

小声で言ったの『アナタが好き』

